

9. 流氷のわるい点・よい点

わるい点



アザラシにとって
流氷の上は安全な
場所。わるいところ
なんてないモン

流氷が来ると漁に行けない

かつて流氷は漁師にとって「やっかい者」として扱われてきました。沖へ出ようものなら、船を傷つけられ、ともすれば船が流氷に閉じ込められて遭難するなど、命におよぶ危険にさらされるのです。もちろん貨物船も港に入ることができず、経済的な打撃も大きくなります。流氷の期間、漁師は陸での仕事をしたり、船のメンテナンスをしながら海明けを待つのです。

数えられないほど
並んでるんだモン



図9-1 陸揚げされた漁船 (2016年12月)

流氷が漁具を壊す

押し寄せた流氷が漁網や養殖施設を壊したり、ウニやツブなど漁業資源をつぶしたりするなどの被害を及ぼします。サロマ湖では流氷による被害を防ぐため特殊なネット（アイスブーム）を設置し、ホタテやカキの養殖施設を守っています。

オホーツク海

サロマ湖



図9-2 サロマ湖のアイスブーム
(北海道開発局 網走開発建設部
網走港湾事務所提供)

ネットが流氷を受け止めた
形は何に見える？
貝に見える？花に見える？



よい点



紋別でも
リシリコンブ
なんだな

勉強に
なるモンだ



流氷が磯 (いそ) そうじのお手伝い

紋別ではリシリコンブがとれます。コンブが育つには海底の雑草がじゃまになるのですが、流氷がこれらの雑草をほどよく削り取ってくれます。

図 9-3 リシリコンブを干す
漁民 (礼文島)

「北海道漁業図鑑」(北海道水産業改良普及職員協議会) より

流氷が海にふたをする

流氷が押し寄せ海面をおおうことで波が立ちにくくなります。ですから、冬の嵐が来ても、大波が立たず海岸が守られます。また風による波しぶきも立ちにくくなるので、自動車や建物を傷める塩害も起きにくくなります。



図 9-4 流氷で埋め尽くされる
オホーツク海

流氷はプランクトンの家

前章の「アイスアルジー」部分の内容どおり、流氷の下にすむ植物プランクトンが、食物連鎖という生き物のつながりを多様なものにして、オホーツクの海を豊かなものにしてしています。流氷の研究が進むにつれて、かつて「やっかい者」といわれた流氷も、今では水産業だけでなく、まち全体にとっても重要な存在として理解されるようになりました。

観光要素としての流氷

今や流氷はオホーツクの冬の使者として全国的な注目を集めています。イベントやお祭り、紋別の流氷観光砕氷船ガリンコ号Ⅱ、あるいはクリオネなど、流氷をメインとした観光が国内外の人々をひきつけ、まちを盛り上げています。

観光イベントに
ひっぱりだこ。
紋太だモン!

...

ドヤア

